

# 明日へ希望をつなぐために

神奈川県議会議員 おのでら慎一郎

## ウクライナへの人道支援を推進

と、募金活動や避難民に対する支援などを進めています。

ロシアのウクライナ侵略がコロナ禍に苦む世界にさらなる衝撃を与えています。

ウクライナのオデッサ州と友好関係にある神奈川県として、少しでも人道支援の一端を担いたい用意しました。

今回の戦争では、わが国の経済も打撃を受けています。県では中小企業者及び協同組合等を対象に「原油・原材料高騰等対策特別融資」を創設。

来県する親族など、避難民の相談窓口を設けるとともに、県営住宅100戸、県公社住宅21戸を

国に追加経済対策を政府に提言すべく準備しています。

公明党本部でも、「国民生活総点検・緊急対策本部」において追加経済

た、ロービジョン（弱視）の人でも網膜の機能が残っていれば視力に関係なく鮮明な画像が見られる新技术が、各現場に導入され始めています。

このハンディ型は旭区内の神奈川県ライトセンターで体験会を開催します。4月12日(火)午前10時から。申込先は神奈川県ライトセンター事業課支援係 ☎045・364・0024。

また、病院と盲学校双方からの意見をもとに改良を重ねたハンディ型も5月に製品化。

## ロービジョンに最新技術で光を

昨年12月の本会議で眼科リハビリや盲学校への導入を提案した「レーザー網膜投影技術」。

県内のベンチャー企業QDレーザ社が開発し



公明党 神奈川県議会議員  
**おのでら 慎一郎**  
 事務所/旭区二俣川2-58-12 Sビル2A  
**☎045・442・8100**

ホームページ <http://www.onodera-s.com/>



レンズが捉えた文章や景色などの映像をレーザービームで網膜に直接投影する。「メガネ(アイウェア)型」(左上)は片方の目にレンズが付く。「ハンディ型」(右上)はフィットिंगが不要で気軽に使える。視覚障がい者の写真撮影も可能になる「デジカメ型」(下)

